

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年10月27日（木）
14時58分～15時52分
全 員 協 議 会 室

【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 河上局長、小寺書記

議題

1 第2回はまだ市民一日議会について…………… 資料1

(1) 反省点等

(2) 検討事項

(3) その他

2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2

(1) 第17号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

3 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて…………… 資料3

(1) Vol. 66で寄せられた意見と振り分け先の確認

(2) その他

4 その他

【次回委員会開催予定日】 令和4年11月24日（木） 午後1時30分から

【議事の経過】

[14時 58分 開議]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始める。出席委員10名で定足数に達している。本日の議題はその他含めて4点ある。順に進める。

1. 第2回はまだ市民一日議会について

(1) 反省点等

三浦委員長

改めて会の運営に当たり、企画から委員には大変協力をいただいた。スムーズに終わられたと思うが、発言いただいた内容をこれから戻していく段階なので、引き続き市民の要望に議会としてしっかり対応できるよう、協力をお願いします。

先ほどの全員協議会で各議員からの反省点などの一覧表に皆目を通されたと思う。それも踏まえ、各委員から運営全般の反省点、感想等をいただきたい。

川上委員

非常に和やかな中で行われた。しかしながら意見を聴取する部分で若干長い質問をされた方がいた。もう少し簡潔にやっていただきたい。あとは休憩中にもいろいろな意見交換ができていたし、市民と議会が一緒に動く部分が見えてよかった。

肥後委員

若い方が非常に多く、整然と発言され、なおかつ議員からの質問にも即答でしっかりした考えを持っておられることに感銘を受けた。提案型の発言が多くすばらしいと思った。議員からの質問時間が5分というのは短く、閉会後に発言者に話を聞きに行ったり質問したりするのを見かけた。時間配分は考えてもよい。

小川委員

昨年は発表者が多かったが今年は10名程度で、集中して聞きやすい人数だと感じた。昨年も今年も1人欠席者がいたが、そのやり取りはどうだったのか気になった。出られるならもう少しきちんとしてほしい。抽選に漏れた方が傍聴に来ておられた。もしかしたらその方が出られた可能性もある。川上委員が言われたように、要点が絞り切れてない質疑があったので、簡潔明瞭にすべきだと思った。

上野委員

流れはスムーズでよかった。若い方も思い切って物を言われたし、よかった。ただ、1人欠席ということで、何とかその方を入れることができなかつたかと今でも思う。

沖田委員

運営はかなりスムーズで、和やかなムードで非常によかった。これは去年から少し思っていたのだが、発言者の質問時間が少し短い気がする。今回若い方が多かったので、発表はどうしても原稿を読む。その後の質疑でそれについて深掘りして話してもらうことにより意見がかなり多いように思う。もしそれ以上に話すことがなければ途中で打ち切ることはできるが、足りないものは足せないなので、長めに検討するべき。

川神委員

役割分担も円滑に進み非常によかった。去年は第1回目で混乱や整理がつかなかったこともあったが、反省点が十分反映されていたと評価する。多くの委員が言われたように、また準備のときにも話が出たと思うが、若者の部をつくってもよいのでは。若者を中心にやるのも非常におもしろいと感じた。穏やかながらも緊張感のある場なので、そこで市政に触れることによって何らかのモチベーションが上がってまちづくりに関心を持っていただくためには、中堅や高齢者がよくないと言っているわけではないが、可能性がある人間にいろいろな経験をしていただく。そのあたりを今後仕掛けていけばよいと感じている。

反省点は、欠席者への対応やオンラインなどいろいろな話が出ていた。今から検討する必要があると思うが、議員から質問する際に一部誤解を受けるような発言や、発言者に対して少し抑圧的な発言があった。あくまでも話を聞いて尊重しながら、その中でやり取りするのだから、広い気持ちでなければいけないのでは。

大谷委員

進行はおおむねよかった。配分時間は発表者も質問者ももう少し時間を増やしたほうがよかったと思う。私自身も5分という制限時間の中で、控えた質問が幾つかある。改善点かと思う。

受付時にお会いする方、私は初めてなので実際この人が本当に該当者かどうかは正直不安だった。それを信じて受け付けたのだが、何らかの形で本人確認は事前にあってもよかったのでは。

村木委員

運営に関しては特段問題なく進んだかと思う。私自身、発言者を案内する担当だった。なるべく名前を呼んで、ようこそと声かけしてリラックスしていただくよう心がけた。傍聴席へ案内するのに、一旦階の外へ出るのも難しかった。

後日たまたま川本へ行く用事があったので早速、中高生の居場所の関係で、たまたま知り合いの先生がいたので話を聞いた。自

村武副委員長

分にとってもすごく勉強になった1日だった。

まずは大きな問題なく終了してよかった。特に小学生と高校生の意見が本当にすばらしく、アンケートなどの調査研究をしっかりとされていてすばしかった。高校生は特に浜田高校がそういった研究をしているので、そういうところからここにつながっているのかと感じた。市の事業と一体的になってよかった。

反省点だが、私自身が役割上のタイムスケジュールが把握できてなかった。事務局職員はタイムスケジュールを持っておられたので、それを委員にも配付してもらえばよかった。発言者が全員協議会の部屋で待機される際に、委員がついていたのだろうか。何をするとということもないかもしれないが、何かあったときに質問などが受けられる人員が1人いてもよかったと感じた。川神委員と私が事前説明の担当だったが、議場でする必要があったのか疑問を感じた。待機していた全員協議会室ではと感じた。

上野委員

当日、庁舎の入り口に「入ったら守衛に必ず声をかけてくれ」と貼り紙があったが、入っても誰も言わないということがあった。

三浦委員長

運営の中でいろいろな課題を出していただいた。次回以降、そうした部分はしっかり反映するべきだと思う。まずは当日の運営が無事に終わってよかったと思っている。当日の様子は新聞社2社にも記事として掲載していただき、議会の取り組みを通じて広聴機能をしっかり強化していこうという姿勢が、あのような形で広報できていることも非常によいことだった。

2回終えて、3回目、来年どうするかは、また今後委員会内で議論していくことになると思うが、今回の2回目を実施するに当たり、市民からいただいた意見と、本日委員からいただいた課題点も含めて、よりよい会がまた実施されるとよい。

広聴機能を高めるために、コロナ禍ということもあり新しい取り組みをさまざまに始めたところもある。これまでやってきた地域井戸端会のように地域に出向いて広聴活動を行う、いわゆる議会報告会・地域井戸端会をどうしていくか、引き続き議論しながら、議会全体として、あるいは議会広報広聴委員会としてどのような広報広聴活動が望ましいかは、皆と全体感を持って協議していく必要があるかと実感した。引き続き協力をお願いします。

(2) 検討事項

- 三浦委員長 今回抽選を行い、抽選に漏れた方、あるいは当日お越しいただけなかった方、こうした方々から申し込み時に出された発言要旨について、今後どのように対応するか。皆から意見を伺いたい。
- 川上委員 第3回の市民一日議会を行うのであれば、第2回の抽選に漏れた方を優先する必要があるのではと考える。第3回をやると決めた時点で再度協議する。当日来られなかった方に関しては、意見をしっかり出していただくことが必要なので、文書等でできるならそれも受けとめる必要があるのでは。
- 三浦委員長 現段階で発言要旨を添えてエントリーいただいているので、こういった趣旨で発言したかったのかは把握できている。当日の発言者は10名というルールにのっとり行ったが、例えば抽選に漏れた方の発言要旨は議員に共有するといったことはできるかと思っている。そのあたりの整理はどうなっているか。
- 小寺書記 抽選に漏れた方、欠席された方、どちらとも発言テーマや内容は事務局も把握しているので、そういうことであれば全議員に共有はできるかと思う。もう少し踏み込んだ対応ということなら委員にご検討いただければ。
- 三浦委員長 事務局へ提出していただいているエントリーについては全議員に共有する。抽選に漏れた方については、まだ第3回の実施が確定したわけではないので、それが確定した段階で優先的に発言していただくよう配慮するとアナウンスしていく形でよろしいか。
- 大谷委員 3回目がまだ決まってない段階で次の方向性の話をするのは。3回目を決めた後でよいのでは。あたかも優先云々と、次回があるかのようなことを今ここで言うべきではない。
- 三浦委員長 では配付するにとどめ、第3回目の協議の様子を見ながら、そこでどのように対応するかは検討していくということ。
- 川神委員 3回目は決定してないので確かにそのような期待感を持たせるのはいかがかと思うが、この委員会の中で、3回目をやる際は今回抽選に漏れた方に配慮しようではないかという意見があったことは共有しておけばよい。3回目の話をする際に、この話を引き張り出して検討すればよいのでは。
- 三浦委員長 繰り返しになるが、既に提出されている発言要旨について、各議員に情報共有するということが1点、抽選に漏れた方の対応に

ついて、3回目の議論の際に、優先するかどうかを含めて協議して適切な対応をするということを進めていきたいがよろしいか。
(「異議なし」という声あり)

(3) その他

三浦委員長

その他、皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第17号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

掲載内容を2項目程度ピックアップする。提案があるか。

川上委員

パターンはいつもどおりか。

三浦委員長

はい。各委員会活動の中で触れたいものがあれば。次回発刊が12月1日。

川上委員

4号荷さばき所の上屋の竣工式があるので、沖田委員に書いてもらえるとうれしい。

沖田委員

委員長命令とあらば、よろこんで。

三浦委員長

ではお願いします。ほかに。どなたかがなのだが、総務文教委員会が今度提言を出す予定なので、多分本紙には提言の様子を書くことになると思う。そうなると、郷土資料館見学の記事が漏れそうなので、miniに書いてはどうかと思うが。総務文教委員会の中で、どうだろうか肥後委員。

肥後委員

はい。

三浦委員長

肥後委員に協力いただけるようなので、総務文教委員会の郷土資料館見学の件と、4号荷さばき所の上屋の件とを取り上げたい。議員のつぶやきはどうか。どなたか話題があれば。前は映画だった。まだつぶやいてない方はどうか。

川神委員

この前、石見神楽で視察議員を迎えというのを個人的に提案した。神楽経験者の職員にもお願いして、山形県鶴岡市の総務常任委員会から8名来たとき、4分ほどエレベーターホールで恵比寿を舞って出迎えた。今後は市全体で取り組もうという話になった。第1回目は一応議会からの提案だったので、そのことなら書くが。

三浦委員長 | ではお願いします。枠におさまるだろうか。結構大きなニュースなので本紙で取り上げてほしいと思うが。

川神委員 | m i n i でよい。

三浦委員長 | ではつぶやきでPRしていただくようお願いする。議長日誌については事務局で議長と調整いただきたい。お願いします。

(2) その他

三浦委員長 | m i n i について、その他ないか。
(「なし」という声あり)
では担当委員の方々、よろしくお願いします。

3 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて

(1) Vo1.66で寄せられた意見と振り分け先の確認

三浦委員長 | 小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | この2点について、配信されている振り分け先でいかがか。何か意見があればお願いします。
(「なし」という声あり)
では1点目を福祉環境委員会、2点目を議会広報広聴委員会に振り分け、協議したい。よろしくお願いします。

(2) その他

三浦委員長 | その他ご意見は。
(「なし」という声あり)

4 その他

三浦委員長 | 委員からあるか。

沖田委員 | 10月12日に浜田高校で行われた課題解決型授業H I R A K Uに参加し、その報告を。ちょうど自分の受け持ち担当の中に2名ほど、議会にとっても興味があり議会についてプレゼンされた生徒がいた。その中で、市民一日議会に非常に興味がある。出てみたい気持ちもあるが、やはり高校生にはあの場で自分の言葉で発言するのは非常にハードルが高い。できるなら高校生を対象にした意見交換会、話し合いの機会をいただくと非常にありがたいとい

う声をいただいた。

三浦委員長

要望は生徒から直接あったのか。貴重なご意見かと思う。せっかく議会に対していただいた意見なので、何かアクションできたらよいが、まず委員会内で協議しようか。

大谷委員

以前学校にいた立場からすると、学校のスケジュールは非常にタイトで4月が始まる時点で1年間のプログラムが全て決まっている状況である。その中で新たに入ってくると、なかなかそれをこなすのは負担になるので、こういう用意があると案内するのはよいと思うが。先ほどの浜田高校の例でHIRAKUという従来の学校活動の中へ議会が出向いていくといったスタンスをしっかりと伝える中で、呼んでいただくような動きをするのがよいと思う。

川神委員

先般も地域協議会との意見交換会という形でやったケースがある。今回沖田委員が言っているように子どもたちの目線、未来に向けた目線の話を我々が聴くのはとても有効だと思う。大谷委員が言われるように、それをどのような形でやるかはいろいろな課題があると思う。市民一日議会を傍聴した方の話で、学生が出てよかったが、そこで話していろいろ提案されているのは、基本的には進学校、浜田高校が中心だと。ほかの学校の子たちはなかなか出てきにくい。そういった人間とも話をしてやらないのかという話があった。幅広く、出やすくなるような仕掛けをどこが担当するのか。希望者を募り、小さくてもよいから議員との話し合いの場を持ってあげるのがよいのかどうかも、この委員会内で検討してみたらいかがか。

大谷委員

私もこの委員会のメンバーなので各学校には資料を持ってお願いに行っている。ただ、学校はそれぞれスケジュールがあるので、生徒に呼びかけていくのであれば出やすい時期をこちらも把握した上で日程を決めていかないと、議会だけで決めた場合、学校にとっては動きが取りにくいところもある。調整しながらやっていくのがよいと思う。

三浦委員長

HIRAKUという学校のイベントではあったかと思う。そこで伺った意見だが、そうした意見はやはり対学校で対応していくのがよいのか。個別の対応をどのように取っていくのか難しいとは思いますが、高校生を対象にして議員と話す機会を持って、学校側が主催するのではなく。そういう案内にはもちろん協力していた

川神委員

だきたいとは思いますが。学校に何か負担をかけるわけではないやり方もあるかなと思うのだが、それはなかなか難しいのだろうか。

それこそハイブリッドでやればどうか。出てこられる人間は、こちらが主体になって場を設けようとなったとき、会場やオンライン配信をしながらそういう形で参加ができるよう、両面でそういう場を設ける。先日、別業界だがそういうことを少しやったら、来ているのは十数名だったが60名くらいオンライン参加があった。聞くだけもあるし意見もある。そこへ参加したいが行けないという方のためにハイブリッドでやった。

三浦委員長

ほかに。今日は沖田委員から貴重な意見をいただき感謝する。具体的にどういうやり方なら可能性があるとか、ほかの委員からの意見も踏まえ、提案書をまとめて委員会にかけていただければ、議論が前に進むのではと思う。そういう提案という形で次回以降に出していただき、皆で協議したいのだがいかがか。

沖田委員

委員長命令とあらば、よろこんで。

三浦委員長

一緒に考えて、大谷委員も学校の様子などご存じのところもあると思うので、様子も事前に伺いながら皆に諮れる形で考えていけたらと思う。ほかに。

(「なし」という声あり)

ではその他でもう1点。県立大学の光延先生に先般来ていただいたが、共同研究についての進捗を書記から説明してほしい。

小寺書記

以前、当委員会で方向性を協議し、全員協議会で報告することとしていたが、光延先生から内容を改めたいとの連絡があり、全員協議会での報告は取りやめた。10月になって後期が始まり、光延先生と学生とで協議され、調査案件は学生を紹介していただき進める。議員インターンシップを希望する学生の紹介もいただいたので、主権者教育にどのようにつなげるかを踏まえながら、今後詰めていく。調査とインターンシップの2件が進行中であると報告しておく。議会フォーラムや講習会は取りやめている。

三浦委員長

当初計画にあった議会フォーラム、議会と大学生の交流の場で意見交換するのが、学生の動員含めて難しいという現状が報告されているということでよいか。研究の中身について変更がある。また皆に進め方について相談する機会が今後出てくると思うが、その節はまたよろしく願います。ほかに。

笹田議長

先日、長野でフォーラムを受けたときにデジタルを使った広報広聴機能という内容があったので、ここで披露したい。

長野の議会報告会は、来ていただく方とオンラインで参加いただく方と両方同時に行ったと紹介があった。もう一つ、西脇はオンラインのみの議会報告会をした。

従来、議会報告会をすると人数は少なく、いつも同じ人が来きていたが、オンラインをすることで初めて参加された方もいて、非常によかったという話もされていた。ただ、こういうものを使った広報広聴機能は課題が多く、今後いろいろなやり方があるのではないかということが今回の勉強会で言われていた。資料は事務局にあるので、生かせるものであれば生かしていただきたい。

三浦委員長

いわゆる今までやっていた議会報告会、出向いて行って広聴活動を行うスタイルの実施については、検討事項に上がっているかと思う。そういうときにもオンラインでの参加について、検討していくようなことは、できるだけたくさんの方に参加していただきたいのは皆の総意だと思うので、手法は参考にさせていただきながら、引き続き協議したい。ほかに。

小寺書記

大変申し上げづらいのだが、今回発行されたV o 1 . 67の紙面に、誤りや誤解を生むような表現が幾つかあったことを報告する。

4件ある。一つ目が3ページトピックス部分で、最初の答えのところで、「令和4年10月以降にマイナンバーカードを」という点だが、国の制度のマイナポイントの申請期間が9月末だったものが12月末に延長されたことに伴い、市の事業も商品券配付はその期間が終わってからということになっているようである。はまだ議会だよりには、10月以降にされた方に商品券が2千円分配付されることが書かれているということで。作成当時にはこういうものだったので仕方ない部分ではあるが、市民に誤解を与えるような部分もあったのでそこは訂正するよう調整している。具体的には、問いの部分が対象者の要件とサービスの内容についてだが、どういった方が対象かという質問にして、答え部分が、マイナポイント第2弾の受付期間終了後にマイナンバーカードに新規登録し、と続き、された人が対象、で終わる。浜田市共通商品券2千円分が配付されるという部分は取るといった対応を協議している。

続いて7ページの個人一般質問部分だが、ある議員の内容で

執行部から、答弁の内容と少し違うと指摘されたので、ここも調整している。

3点目が12、13ページ。市民対談。このデータはもう直っているが、全戸配布分は取材した2人の名前の漢字が誤っていた。

最後に14ページの委員会活動レポート、産業建設委員会の部分の、産業建設委員会の緑枠のところ余分な字が入っている。校正時に何度も見てはいたが、今後気をつけていきたい。

これらの修正や対応についてだが、ホームページで公開するものについては訂正後の内容で掲載したい。次号2月1日のV o 1. 68の紙面において、お詫びと訂正を掲載したい。

三浦委員長

誤解を招く記載がされてしまったことについては、大変申しわけなく思っている。次号以降、改めて内容についてきちんと正確な情報が伝えられるように努めていきたい。委員の協力もお願いしたい。よろしく願います。

一般質問の内容だが、質疑応答含めてこの文章は各議員に内容の執筆責任も含めてお願いしているが、今回、答弁内容に議員側の解釈として誤りがあったという指摘が執行部から入ったということもあり、今後、執筆は各議員に求めつつだが、正確性をどのように担保するかについては次号の紙面編集の際に皆と協議する必要があるのではと思っている。今回の修正に当たって、皆には改善策についても意見を賜りたい。この件について何かあるか。

(「なし」という声あり)

ほかには。なければ日程について願います。

小寺書記

次回議会広報広聴委員会の開催は、11月24日木曜日、午後1時30分から。12月定例会議に向けてのV o 1. 68の内容を協議、1月1日発行のm i n iの話もさせていただきたい。また、議会報告会のこと改めて協議ができたなら今は思っている。

三浦委員長

予定の確保をよろしく願います。これで委員会を終了する。

[15時 52分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀